



最初にお読みください

TenQ **AT-TQ2403** リリースノート

この度は、AT-TQ2403 をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解
いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ファームウェアバージョン 1.1.0

2 本バージョンで追加された項目

ファームウェアバージョン 1.0.2 から 1.1.0 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が追加されました。

2.1 VWN(Virtual Wireless Network) 機能

 **「ユーザーマニュアル」 88, 97 ページ**

VLAN ID ごとに SSID を設定して、1 台のアクセスポイントで、複数の無線ネットワークを利用可能にする、VWN 機能が追加されました。

2.2 AP クラスタ機能

 **「ユーザーマニュアル」 61 ページ**

複数台のアクセスポイントをグループ化し、設定の変更やユーザーの登録などを一括して管理する、AP クラスタ機能が追加されました。

2.3 RADIUS アカウンティング機能

 **「ユーザーマニュアル」 77, 79 ページ**

外部 RADIUS サーバーを使用して RADIUS 認証したユーザーのネットワーク利用状況等の情報を管理する、RADIUS アカウンティング機能が追加されました。

3 本バージョンで修正された項目

ファームウェアバージョン 1.0.2 から 1.1.0 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 3.1 設定ファイルを読みこんだ時に、Web GUI 上でファームウェアのバージョン表記が、読みこんだ設定ファイルのファームウェアのバージョンに変わる場合があることを修正しました。

4 本バージョンでの制限事項

ファームウェアバージョン 1.1.0 には、以下の制限事項があります。

4.1 本製品のご使用にあたって

 [「ユーザーマニュアル」38 ページ](#)

- 本製品の起動中は、ネットワークの使用をお控えください。
 - 本製品の Web 設定には、必ず「Microsoft Internet Explorer 6.0」をご使用ください。
-

4.2 設定ファイルの保存について

 [「ユーザーマニュアル」110 ページ](#)

暗号化して保存した設定ファイルを読み込んで復元させた場合、設定が反映されません。設定ファイルを保存するときは、「Encrypt the configuration file」チェックボックスにチェックをつけないで保存してください。

4.3 syslog サーバーの指定について

 [「ユーザーマニュアル」83 ページ](#)

「Relay Host」入力欄には文字数の制限がありません。IP アドレスを正確に入力してください。

4.4 WDS について

 [「ユーザーマニュアル」99 ページ](#)

「Remote Address」で既存の MAC アドレス設定を上書きした場合は、設定終了後に必ず本製品を再起動してください。

4.5 初期化について

 [「ユーザーマニュアル」110 ページ](#)

「To Restore Factory Default Configuration ...」から再起動を行った場合、鍵ペア生成のために数分（最長 10 分程度）かかることがあります。再起動が完了するまで、電源を抜かないでください。

4.6 アップデートについて

 [「ユーザーマニュアル」112 ページ](#)

- ルーター経由でファームウェア更新を行うと、動作状況を把握できなくなる場合がありますが、約 4 分後にはファームウェアが更新され正常に起動します。設定を続ける場合は、再度本製品の Web 設定画面に接続してください。
 - 「New Firmware Image」で空ファイルを指定すると、エラーが表示されます。
-

4.7 SNMP について

 [「ユーザーマニュアル」107 ページ](#)

本製品を起動してから長時間（8 日間程度）経過すると、MIB-II の system.setUpTime の値が正しくなくなることがあります。

4.8 VWN の設定について

 [「ユーザーマニュアル」97 ページ](#)

- VWN 設定タブで、各々の VWN を有効にし、いったん無効にしてから再度有効にすると、VWN の設定のうち、VLAN ID の設定だけが削除されます。SSID やセキュリティなどの設定は残ります。

- VWN 設定タブで、「Mode」に「Static WEP」を選択すると、セキュリティの認証方式で「Authentication」の選択ができなくなります。実際には Open system 認証が行われています。
- 有効な VWN の数が増えると、MAC アドレスフィルタリングの設定が、すぐに反映されないことがあります。VWN と MAC アドレスフィルタリング機能を併用する場合は、MAC アドレスフィルタリングの設定後に本製品を再起動してください。

5 ユーザーマニュアルの補足

同梱の CD-ROM に収録されているユーザーマニュアル (613-000584 Rev.B) の補足事項です。

5.1 入力文字列について

 **「ユーザーマニュアル」 60, 91, 110 ページ**

本製品の web マネージメント設定では、文字列の入力に半角英数字のみを使用できます。

- 名前に ASCII 以外の文字コードを含むユーザー情報は編集できません。
- 名前に ASCII 以外の文字コードを含む暗号化された設定ファイルを読み込むことはできません。
- ” (ダブルクォート) を含むネットワーク名 (SSID) は使用できません。

5.2 VWN について

 **「ユーザーマニュアル」 88, 97 ページ**

- VWN 機能を有効にすると、AP クラスター機能が動作しないことがあります。VWN と AP クラスター機能を併用する場合は、「Ethernet Setting」タブの、「Internal Interface Settings」の「VLAN ID」と「Management VLAN ID」に同じ値を設定してください。
- 有効な VWN の数が増えると、本製品の CPU の負荷が高くなりスループットが低下します。有効にする VWN の数は、5 個までにすることをお勧めします。

6 未サポート機能

以下の機能はサポート対象外ですので、あらかじめご了承ください。

6.1 日本語表示について

 **「ユーザーマニュアル」 50 ページ**

Web GUI の言語切り替えで、日本語を表示することができますが、これは未サポートです。

